

炊き出しボランティア通信

vol55

2011,12月

炊きだし 12月11日(土) 9:00 元寺小路教会に集合・準備。12:00 炊き出し



ハイ、おむすびですね。



今さし上げま〜す。

○ 夏の時よりも大変でした。服の量がものすごく多くて、種類やサイズに分けたりするのに時間がかかってしまいましたが、3人で協力できたのでよかったです。次回も頑張りたいです。(1年)



はい、こちらです。



このサイズはどうですか？

○ 冬で寒かったけれど、豚汁がとってもおいしかった。夏よりもホームレスの方の人数が多くなってきた気がした。どうにか人数が減ればよいと思った。(1年)



頑張った人は、こんな顔～。

献金 高校の卒業生の方から修道院を通じてあずかりました。茨城在住の方なのでWさんに渡し、直接受領証・礼状を送付してもらうことにしました。今回で何回目の献金だろうか？かなりの回数になります。こうゆう方のためにも、忙しさを理由にブログでの報告を怠ってはなりません。すみません。

夜回り 12月9日(水)19:45～

夜回り品づくりに追われている最中のところへ行った。以前に本学院小学校の保護者の方からいただいた3Lダンボール入りの韓国のりが今夜のおむすびでは大量に贅沢に二枚使用されていました。これはうまいにちがいない。スタッフの人員が少なくて、しかもたしかに、ロウジン会かもしれない。(そのなかに足を突っ込みそうな自分も含めて)

出発 人員のこともあり、一人。

国際センターへ。西公園の陸橋前を通過する時、ふとOさん元気かなと考えていた。13年かな？陸橋下ビニールハウス暮らし。ご苦労様。さかんに抵抗していた支援センター入りも、腹痛が治まらない入院の果てならやむなし。やっぱりここよりはいいでしょう。そう考えながら、サミシイと思っている自分を説得させていた。センターの裏ベンチはめずらしく人気がなかった。空振り感のまま車に戻って発車してから気づく。表ベンチを忘れていた。どうかしている。西公園へ向かう途中で戻った。ベンチ前には自転車を停めて一人おやすみだった。コンバンワー、お寒いですね。求めに応じて、みそスープを2杯つくった。「ありがとうございます」生徒が炊き出しへの参加感想によく書くことば「ありがとうといわれた時にとても嬉しかった」—その通りにことばが胸にストーンときた。車に戻る。また忘れ物に気づいた。今日は本当にいけない。カップ麺と

炊き出し案内チラシをもってまた引き返した。

西公園大木下ベンチのHSさん不在。ベンチの荷物はそのままだった。セット品をおいてくる。すぐ横の広場は季節柄電飾でおとぎの国のようにになっている。行き交うカップルや家族連れ。これじゃ頑張っても寝られないだろう。あるいは追い出されたか、遠慮したか。今度昼間に寄って、いたら、聞いてみよう。

文責 高橋 覚